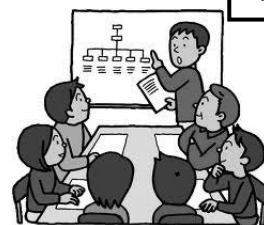


●第2回高浜地区復興まちづくり検討会

◆開催概要

日時：12月9日(金) 18:30～21:00

場所：高浜コミュニティ消防センター 出席者：検討会メンバー11名



検討にあたっての情報提供

■地区復興まちづくり便りへの意見等について

皆様からお寄せいただいた復興まちづくりに関するご意見やご提言をお知らせし、検討を進めました。

■浸水深と建物被害の関係について

宮古市の建物被害は、浸水深 2m前後で被災状況に大きな差があり、2m以下の場合では建物が全壊となる割合が大幅に低下しています。

■津波シミュレーションについて

最悪のケースを想定し、防潮堤が破壊された時でも人命を確実に守れるようにするため、防潮堤がない場合のシミュレーション結果をもとに避難計画の検討を進めました。

■要望事項への回答について

第1回検討会で出された国道45号の嵩上げ要望について国に確認したところ、まちづくりと一体となった整備以外の国道嵩上げは難しいとの回答だったことをお伝えしました。また、同じ様に要望として挙げられていた水門操作の自動化について、整備の方向性をご報告しました。

住宅・産業等の土地利用の方針について出た主な意見

第1回に引き続き2班に分かれて検討した結果、右図に示すように意見の共有が図られました。

○防潮堤の整備などにより安全が確保されるのであれば、原則として現地での住宅再建を目指す。

○漁港は避難路の整備などにより安全性を高め、漁業振興による地域の活性化を図る。



道路、防災等の方針について出た主な意見

道路と防災等についても、2 班で検討し、右図に示すように意見の共有が図られました。

- 高台での避難所の整備と避難路の確保
- 旧道等を利用した高台を結ぶ避難路の整備
- 被災時に孤立しないよう他地区へ抜けられる防災道路の整備
- 市道と国道との接続部の改善・見直し
- 国道の一部嵩上げの再要望



今回の検討会で共有できた方針

①土地利用の方針

住宅地	コミュニティに配慮しながら安全の確保を図り、従前地での再建が基本。
漁港	災害時における避難路の整備・拡充などにより漁港の安全性を確保。漁業振興による地域の活性化。
自然環境	砂浜をはじめ地域の資源となる自然環境はできる限り保全。

②道路、防災等の方針

避難路の整備	居住地から避難所までの避難路の確保。 旧道等を利用して高台を結ぶ避難路を整備。 災害時の地域の孤立を防ぐため、八木沢地区などほかの地区に抜けられる避難路を整備（自動車で移動できるように拡幅整備）。 漁業者が浜から迅速に避難できる避難路（階段や新設道路）を整備・拡充。
避難所の整備	高浜自主防災部の備品格納倉庫があるエリアに避難所を整備。 高台を結ぶ避難路周辺にも避難所を整備。
国道の改善	市道と国道との連絡をスムーズにするため交差点部に信号機を設置。 国道 45 号の低くなっている箇所について部分的な嵩上げを改めて要望。
津波避難タワーの整備	避難所にたどり着けない避難者のために避難所までの間に避難タワーを整備。 地区センターを兼ねた避難タワーの検討。